

- ・コラム(杉浦 良)
- ・お知らせ(四国学院大学来所見学)
- ・Facebook より
- ・ご協力者名簿／編集後記

NPO法人 太陽と緑の会

かわら版

200号/2023 ▶ Since 1984

「働く中身を考える」 杉浦 良

今年初めの地元新聞記事に、障害者雇用「代行」急増—企業に貸農園 85カ所で 5000人—法定率目的 800社利用、とありました。前から関係者の中で指摘されていたことですが、急増したことで新聞記事にも取り上げられたのでしょうか。

日本では、障害者を雇うことを義務付ける法定雇用率が決められています。現在一般企業で 2.3パーセント、従業員 43.5人の事業所ではハンディーを持った方を 1人雇う必要があり、満たせなければ月 5万円を納付しなければなりません。ペナルティーとして月額 5万円/1人を支払っている企業は全国で半数以上ありますが、障害者雇用にしっかり取り組



値札をつける作業

んでいるほうが社会的評価も高くなるし、雇用率を超えた事業所には別途月額 2.7 万/1 人が貰えるので、ペナルティーを払うより代行業者にお金を支払い、障害者雇用を進めてもらうほうがベターと考える経営者もいるでしょう。雇用される障害者にとっても最低賃金を保証されることで、両者にとってウィンウィンの関係になるという訳です。

ただ最低賃金に見合うだけの労働の質が伴うかが問題で、現実には企業と関係ない農作物を栽培し、販売せずに社員に無料で配るなどのケースも多く、とても世間一般の働く感覚とはずれています。農作物を販売しそこから経費を引いて利益が生まれ、それによって給料が支払われる訳です。もしそうでなければ税金で支えられる公務員と同じ扱い（労働の質と中身が大きく異なりますが）になります。国家安全保障の視点から自給率の低い日本の食料を補い、環境保全の観点から無農薬有機野菜作りを積極的に国家レベルで考えるために公的資金を導入するのであれば、それはそれで納得もできるでしょうが、普通の働く人たちの共感を得られない障害者雇用は、いずれ破綻するでしょう。

非正規労働者が増え続け、同一労働同一賃金が叫ばれる中、ハンディーがあるからといって「・・・オレの五分の一くらいしかやれないあんたが、何で給料が一緒なんよ・・・売り上げもほとんどないあんたたちが・・・何で最低賃金もらえるの・・・」そんな言葉がすぐに投げられてしまいます。

「・・・労働の喜び・・・なんていう言葉もあるけど・・・普通お金をもらうのはそんなに喜んでばかりではもらえんのかな・・・苦しいばかりでは続けられんから・・・たまに嬉しいことがあるのと思うけど・・・」そんな言葉をメンバー達に呟くことがあります。

「・・・これくらいの働きで、こんなにお金になる・・・」そんな実質が伴わない感覚が独り歩きするこのとのヤバさを思います。仮に未達成障害者雇用率の負担金自体がなくなれば、障害者雇用「代行」も成り立たなくなるでしょう。そして成り立たなくなった 5000 人の知的、精神障害者の方たちはどこに行くのでしょうか。もし雇用契約を結び最低賃金を保証する就労継続支援 A 型事業所が、労働者契約外の就労継続支援 B 型事業所と同じ作業で成り立つならば、何らかの不正や欺瞞があるのでは？と感じる世間の声を否定はできません。つい先日、「悪しき A 型」問題は全く解決してない、6～7 割の A 型事業所は行政からの給付費（税金）から障害者賃金を支払っているようである、と指摘がありました。

では就労継続 B 型事業所で働いたら生活に困るのでは、という問題がリンクしますが、それは別の生活保障の軸で支えることが、この分断を防ぐことになるのではと思います。

正社員と非正規社員の分断を同一労働同一賃金という切り口で修正しようとする現在、時代と真逆の問題が山積しています。ノーマライゼーション・インクルージョン・共生社会の必要性が叫ばれる今、隣の芝生が青く見えるのではなく、本当に青いのは、やっぱりあかんのと違う？太陽と緑の会のメンバーたちと関わらせてもらって、改めてそう思います。

# お知らせ

## 四国学院大学来所見学

2月18日午後1時半から、四国学院大学大学生9名と富島先生(社会福祉学部教授)が来られました。支援学校・小学校の教員や社会福祉を目指す学生を対象に、映画「そっちやない こっちや コミュニティケアへの道」(1982年/110分/カラー監督/柳澤寿男)を講義で見て、太陽と緑の会に研修見学に来られました。ハートランドあっぷる(徳島市南庄町)のプレートランチを食べ、OBである山下千里さんの話も聞いてからの来所です。

当会の活動をパワーポイントを使って紹介しました。今回は四国大学の萩原先生とボランティア参加の学生Eさんも特別参加です。質疑応答は多種多様であったという間に午後4時に、見学と買物タイムを経て香川に戻られました。企画した富島先生に感謝です。

「基本的人権の尊重と言葉では簡単に言うけど、それって実際はどんな事?地域福祉の地域って、どんなエリア?専門職で囲まれたエリアは地域とは言わんよ・・・」など、実践知を持った専門家が少なくなりました。

## 来所見学

11月26日、広島県福山市の有地さん(特別養護老人ホーム施設長)、府中市の社会福祉法人理事長Iさん、福山市障がい者相談支援センターのHさん、地域包括支援センターのNさんが見学に来られました。皆さん社会福祉の世界で活躍されているベテランぞろいです。さて何を話すか?と戸惑いもありましたが、今までの足跡を話しているうちに、熱心な質問が飛び出します。あっと言う間に2時間半の時間が過ぎ、建物の見学や買物をされ帰途につかれました。

「このままの社会福祉で良いのか?」そんな求を持ち続けておられる、素晴らしい方々でした。こんな機会を作って下さった有地さん、有難う御座いました。

## ごみゼロフォーラム

1月15日、「循環の集い」(ごみゼロフォーラム実行委員会主催 とくしま県民活動プラザ研修室)で、話をさせて頂きました。沢山の方々がお越し下さいました。

「今までリユース・リサイクルの活動は知っていたが、排水池を使つての排水処理、簡易水洗トイレと好気性バクテリアを使つての糞尿処理や肥料としての活用は知りませんでした・・・」

質疑応答もたくさん頂き、あっと言う間の2時間でした。代表世話人の福井さん、そして熱心に耳を傾けて頂いた皆さんに感謝です。

## もみ米頂きました

12袋の美味しいお米を頂きました。ただ開けてびっくり粳摺り前のモミ米です。モミ米を精米するコイン粳摺り精米機も出回っているとのこと、徳島で見かけたことがないので全く知りませんでした。モミ米も販売されていて、いつでも新米の美味しさが味わえると評判のようです。そんな高価なモミ米ですが、粳摺りして頂けるところが見つかりません。川内町で有機無農薬米を作っている本田さんが引き受けてくれ、ようやく一件落着となりました。

1袋ずつ粳摺機に投入すると玄米と屑米と粳殻に分かれます。1時間程で12袋240キロのモミ米が8袋の玄米となり、その玄米をコイン精米機にかけ180キロのお米になりました。240キロのモミ米から

最高級なお米に生まれ変わり、フードバンクとくしまとクレール子ども食堂にそれぞれ90キロを持ち込むことが出来ました。森本会長さん、粉摺りを引き受けてくれた本田さん有難う御座いました。

## 頂きました

12月19日、「フードバンクとくしま」さんから、宇治抹茶バウムを沢山頂きました。皆が楽しみにしているクリスマスプレゼントに入れさせて頂きました。

「こんなに沢山あるんだったら一杯貰えるわ・・・」と密かに期待したメンバーもいたでしょうが、他の作業所・事業所にもお裾分けすることにしました。朝ミーティングで皆に話したら「それでいい・・・」と語るYさんがいました。

「受けるより与える方が幸福・・・」

メンバーも捨てたものではない・・・そう改めて思わせる瞬間でした。

12月22日、理事のKさんが豚汁を作ってくれました。食材を持参して毎年作りに来て下さっています。翌日のお昼にさっそくKさんの豚汁を頂きました。お昼過ぎにマイナス0.6度まで下がる寒さの中で冷えた体があたたまりました。有難うございます。

1月14日、浄土真宗のお寺（尊光寺等）の皆さんからの食料品・調味料等をフードロス活動で持ち込んで下さる竹條さんから、17回目の品物を頂きました。食料品・調味料等は、リサイクル作業所・月の宮作業所で活用したり、一人暮らしのメンバー達にも配らせて頂きました。また竹條さん手作りのカップケーキもたくさん頂き、朝ミーティングで皆に配りました。

東京在住のTさんから、今年も沢山のチョコレートを送って頂きました。今回のチョコレートは円ありドルありそしてユーロまである豪華版です。バレンタインの頃、メンバーたちに金一封として、朝ミーティングで配ります。

「・・・金持ちになった気持ちだけを送ります・・・」とありました。そんな気持ちを送って下さることに感謝です。

Tさんからミカンをかごで4箱分も頂きました。早速、お昼ご飯の時に皆で頂きました。Wさんから大きな白菜を頂きました。昼食のみそ汁づくり担当メンバーのKさんが、鍋物風に仕立ててくれました。

食材の価格が高騰し、昼食のおかず弁当も値上がりし、昼食事情も厳しい中、本当に有難いことです。

朝食はパンとジュース、夕食はスーパーやホカ弁で買った弁当のみ、という食生活のメンバーさんもいて、どうしてもビタミンが不足しがちになります。

作業所の昼食でしっかり補っているから何とかやっていけているメンバーさんも少なくありません。



# Facebook より

1月19日

自転車の前後輪のタイヤとチューブを交換してほしい、というリクエストをお客様から頂きました。自転車の修理技術者が代表の杉浦しかいないため、通常は、当会で購入した自転車に限らせて頂いているのですが、とても思い入れのある自転車のご様子で、今回は特別にお受けすることにしました。

長い間、使用せずに保管してあったようで、タイヤがリムに固着しており、タイヤのふんどしもリムに固着してマイナスドライバーを使ってはがさないといけなかったり、なかなか難儀しましたが、無事交換完了しました。

表面的に見てしまうと「リユースの自転車を購入した方が安いのでは」と思われる方もおられるかもしれませんが、単なるそろばん勘定では測れない「思い入れ」という特別な価値が、これからの時代ますます大切になって来るのかもしれません。

1月22日

今日の昼食は、日曜日恒例のカレーではなく、讃岐うどんです。理事のMさんから頂いた山田屋の讃岐うどんに、わかめ、ネギ、そして正会員のFさんから頂いた焼豚をトッピング。だしは本つゆに顆粒だしというシンプルなものですが、代表杉浦が麺の茹で加減にも細心の注意を払って仕上げました。

美味しそうなうどんを前にして、メンバーさんも目の輝きが違います。あっという間にどんぶりが空になっていきます。

杉浦のお手伝いをしてくれたメンバーのKさん。自分もやってみたかったのか、2回目の準備をしていたら、鍋の湯が沸いたのを見て、自ら麺を投入。ところが…。

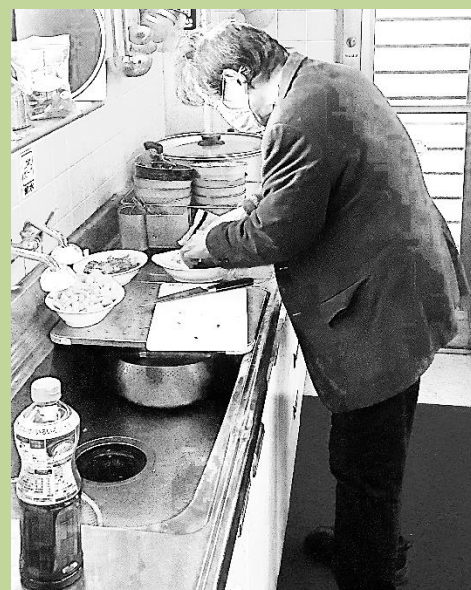
「あれKさん、時間ははかっている？」

「あ、忘れました」

「時間はきちんとはからないと…。カレーを煮込むのとは違うんだよ」

杉浦がゆで加減を見ながら無事リカバリできました。

Mさん、Fさん、ありがとうございました。



# 当会の活動をご支援下さった皆様

§ 2022年12月1日～2023年2月28日 § (紙面の都合上、敬称は略させていただきます)

## ご寄付を下された皆様

中井医院、市田、米田、久次米、笹山、板東、椎野、三好商事自動車部、匿名  
(郵便振替口座) 匿名、山村、鈴江、西澤、北岡、浜田、荻野、辻、大谷、野田、堺、太田、  
伊地知、小林、杉本、瀧倉、森、豊崎、足立、瀧倉、亀倉、佐藤、永口、松田、田尾、匿  
名

## 品物を持って来て下さった皆様(郵送含む)

○徳島市○岩崎、浜、高木、中園、河村、杉浦、徳永、伊藤、戸田、吉田、藤森、西、西  
岡、阿部、旭、小山、大上、久米、長尾、名倉、長浜、永栄、佐藤、榎本、松本、鎌田、  
クボ、森野、野根、東條、新田、中川、後藤、櫻井、青木、梶井、梅の花保育園、本荘、  
藤坂、片山、喜久寿会(医療法人)、東口、細川、福山、田中、三久、佐々木、森、相原、  
和田、岡本、飛鳥、岸、武田、森口、六車、森本、檜原、山田、岡田、ニシダ、森岡、ヒ  
サナガ、乾、元木、若松、松崎、飛梅、郡、上田、平岡、臼木、竹内、タカシマ、南、神  
原、村上、クレール 原田、三木、飛田、松下、中山、南郷、蒲原、前田、岩野、安部、  
原、倉木、松田、勝本、池光、野田、斎藤、津川、吉岡、野地、合田、新居、平山、鎌田、  
久米、狭間、齋藤、柳本、スギタ、坂野、高岡、川崎、中野、森、菅原、富永、勝浦、有  
持、小林、西、川原、川人、大西、加藤、松村、松田、西山、金本、大久保、中田、相子、  
迎、廣田、永尾、炭田、団、福永、ニシハラ、田川、仁木、相原、塩田、中村、菅原、福  
田、石川、野々瀬、伝住、林、中石、山本、西河、富永、岸本、武市、伊豫谷、荒木、ナ  
ガムラ、位田、山川、竹岡、長澤、岩崎、清田、榊、原田、大畠、篠原、櫻井、坂東、矢  
川、渋谷、井筒、大西、尾方、有持、まゆやま学苑、丸岡、スズエ、池田、河野、簗手、  
永田、村上、殻内、池村、キシ、木内、神大、山中、大野、長田、阿部、下条、小川、山  
口、さとう、石原、吉永、ひめの、伊藤、イグチ、白石、谷口、上山、梅原、福山、小倉、  
橋本、川城、長江、上藤、中木、坂東、井藤、森内、熊川、内藤、野中、スギタ、竹尾、  
岩森、福山、森岡、下山、松岡、鄭、高島、武田、黒嶋、横山、吉田、賀好、松島、山中、  
近藤、中西、西野、西村、木下、杉本、小倉、梅原、神下、三井、大西、梯、野々瀬、久  
米川、曾我部、泉、宮田、住野、藤原、杉野、前林、坂東、中川、木村、井藤、松内、高  
橋、杉内、日下、藤井、平岡、井筒、中平、岡島、竹岡、四宮、秋田、武市、山岡、大野、  
山西、松村、武知、喜多、新田、篠原、山室、森西、漆原、川尻、瀬川、米田、下山、枝  
澤、新居、福井、横田、藤本、石川、大島、平、大代、島谷、犬伏、浜田、山下、杉本、  
井上、粟飯原、富山○石井町○森口、オカモト、カワカミ、吉本、阿部、林、香川、加島、  
高橋、森野、藤本、久次米、石井、吉原、瀬戸、宮北、酒井、近藤、塩田、ミヤザキ、富  
土原、黒上○佐那河内村○水原、青木○上板町○世戸、安岡、上田、鳥羽、広瀬、影山、  
白木、河野、松岡○那賀町○谷下○鳴門市○佐野、小田、渡辺、中山、浦川、三井、大竹、  
渡辺○小松島市○宝、津川、中野、豊栖、郡、浜口○阿南市○上田、山本、橋本、住友、  
○藍住町○林、犬伏、誉田、中川、洙田、黒上、長田、井出、菅井、山本、三好、奥村、  
南、丸本、瀬尾、萩田、犬伏、坂東、熊本○神山町○佐々木、XAVIEN、畔永、河野、上田、  
織田○阿波市○檜尾、福德、川崎、松浦、岡田、河野、三橋、篠原、谷口○吉野川市○島  
田、向井、以西、中山、ナカニシ、河野、安藤、安部、佐藤、岡田、清登、楨納、鈴木○  
松茂町○祖父江、朝井、横関、喜来○北島町○松田、福野、大村、佐野、多田、福田、佐  
藤、今市○板野町○梶原、鎌田、沖津○小松島市○郡○美馬市○大西、中川、佐藤○美波  
町○辺見○牟岐町○さかもと○海陽町○神沢○美波町○辺見○福岡県○永峰○大阪府○吉  
岡○東京都○小山、小林、瀧倉、三木、高橋○香川県○松村○埼玉県○本田○長野県○吉  
川○愛知県○松浦○京都府○木村、井上

## 品物を引き取りにお伺いさせて頂いた皆様

○徳島市○近藤、三宅、内田、金山、宇田、新見、富島、堀井、山根、大櫛、長野、多田、新居、石本、久次米、笹山、松原、吉岡、田中、金本、松下、島崎、中村、流、穴吹コミュニティ（貫井）(つるの)、穴吹ハウジング(西上)(板東)、佐々木、幸田、上田、芝野、市川、石川、富永、宮越、中井、ピンク美容院、谷、熊谷、上野、やお原、平田、大西、武知、橋本、東内、出口、藤谷、郡、福井、吉田、市原、原田、木下、久保、徳永、佐伯、柳川、木元、わかさ幼稚園、井形、西富田公民館、大嶺、豊田、井上、大櫛内科、市田、中島、応神小学校、林、佐藤、安田、土肥、大木、岩崎、高尾、小ばたけ、渡部、デイサービス心笑、大原、横山、中村、福永、大垣、青木、三木、桑原、黒田、増田、松井、古川、大北、松山、はなぶさ、松崎、藤永、澤口、仁木、浜田、東内、明石、久米川歯科、川原、井後、井原、大上、住友、高橋、松浦、穂田、玉置、宇治製薬、吉村、吉内、井後、宮本、鈴栄、前田、井内、中野、大嶺、坂東、藤田、増田、吉川、岸田、近藤、伊藤、森脇、斎藤、山野、花房、長谷川、福井、山下、川崎、宮越、福良、佐藤、森、サイトウ、武田、千葉、西岡、小野、佐川、谷、中山、加戸、月岡、牧野、中西、板東○鳴門市○松本、新崎、久龍、米田、元木、大和、中岸、林○北島町○藤田、島本、中野○石井町○松村、後藤、酒井、廣澤、かわの、山崎、三木、杉本○藍住町○吉田、田野、野本○吉野川市○福山、斎藤○小松島市○木下○板野町○上田○松茂町○箱井

いつも当会の活動にご支援ご協力頂き、ありがとうございます。品物を持って来て下さった皆様の中には、「何回も来て、書いているので」「名前は結構ですから」と、お名前を書かずに帰られた方も多数おられます。頂いた品物は大切に活用させていただきます。リユース・リサイクル可能なものがございましたら、ぜひお電話下さい。

いつも「フードロスをなくすために」とまだ食べられる食材を持って来て下さる竹條様(浄土真宗のお寺(尊光寺等)の皆様を代表して)をはじめ、ミカン、自家製のタクワン、お野菜、食材、お菓子、飲み物等を差し入れて下さった皆様も本当に有難うございました。

※本誌へのお名前の掲載を希望されない場合は「匿名希望」と記入して頂ければ幸いです。



どんな品物がリユースにつながったか、売場責任者のメンバーさんと毎日確認しています



日曜日の昼食は、メンバーさん手づくりのカレー。市民の皆様から頂いたお野菜も活用させて頂いています

## 編集後記～コスパとタイパ

大学生のAさんがボランティアに来て下さいました。新型コロナ禍の影響で、学生さんのボランティアや研修もほとんどなくなってしまった中で、メンバーさんも楽しみにしていました。

新館で作業をするメンバーのBさんもその一人。早速Aさんにまわりついてあれこれ話しかけてアプローチするのですが、あまりのしつこさにAさんも疲れてしまった様子でした。

知的ハンディを持つメンバーのBさん。最初はまったく作業が手につかず、作業を始めても、3分もたずに作業をやめ、持ち場を離れてしまう日々が続いていました。

気になること、不安に思っていること、腹を立てていること、してほしいこと、やりたくないこと、そういった気持ちを自分の言葉で伝えることが苦手で、朝からイライラした様子で通所して感情を爆発させたり、相手が怒ることや傷つくことをわざと言って反応を見たり、気を引こうとして嫌がることをやったり、物に当たったり、途中で帰ったり、ということも日常茶飯事でした。

通所するようになって15年が過ぎ、少しずつ自分の気持ちを伝えられるようになって

てきて、作業も15分は持続するようになってきました。

それでも、作業を頼まないと「何や、ほったらかしかい…」とつぶやき、作業を頼むと「何でワシがやらんといかんのじゃ。お前がせいや」と乱暴な言葉を吐きながら、作業は案外丁寧にやってくれる。真面目な人ほど表面的な言葉に引っかかって、訳が分からなくなってしまうかもしれません。

最近「コスパ」(コストパフォーマンス、費用対効果)に加えて、「タイパ」(タイムパフォーマンス、時間対効果)を重視する方も増えてきているようです。

Bさんのような方とお付き合いしていくという営みは、「コスパ」や「タイパ」という尺度で考えると、割に合わないことでしょう。

うまくいくかどうか分からない、努力しても報われるとは限らない、ネットで検索しても正解は見つからない、そんな海の物とも山の物ともつかないことに貴重な時間を費やすことは、ためらうのが普通です。

「人を育てる」という営みが、割に合わないから、と放棄されてしまう時代が、刻々と近づいているように思えてきます。(小山)。  
(当会の日々日常をつなぎ合わせたイメージです)

### NPO法人 太陽と緑の会

私たちは、「人も物も活かされる街づくり」をテーマに、ハンディのあるなしに関わらず「地域の中でその人がその人の足で立っていけること」を目指し、様々な方々(市民、ボランティア、行政)の支えを頂きながら土、日を含めた日常活動を行っています。

これは、日本の次世代型ソーシャルアクションモデルになると考えています。このような活動のあり方により、徳島の将来や日本の未来が、幸多く豊かであることを願っております。

### 発行：NPO法人 太陽と緑の会

〒779-3120 徳島市国府町南岩延 107-1

TEL・FAX 088-642-1054

代表理事 杉浦良 編集 小山隆太郎

ご協力者名簿作成担当メンバー 岡田

宛名シール添付担当メンバー 堀

製本・発送作業担当メンバー 岡田

年会費：正会員 1万円 (総会議決権)

準会員 1,000円 (機関誌発送のみ)

郵便振替口座

01620-8-44703

加入者名：特定非営利活動法人太陽と緑の会